

MonthlyTimes (H27.10月号)

☆創造・自律・共生☆

★有田中央高等学校★

体育大会 秋空に歓声響く！



22日(木) 爽やかな秋晴れの下、体育大会を実施しました。旗を掲げた各クラスの代表が集まり、3年2組の山田衣純さんが「私たち生徒一同は日頃の練習の成果を発揮し、一生懸命楽しみ、安全にそして美しく正々堂々と戦うことを誓います。」と力強く宣誓し、競技が始まりました。

競技種目は個人・集団に分かれ、クラス対抗で得点を競い合います。種目もバラエティに富み、個人の「竹馬走」や集団の「しっぽ取り」などユニークなものも。生徒も真剣に取り組み随所に白熱した勝負が繰り広げられ、特に綱引きの準決勝・決勝戦が盛り上がり1年生が大健闘し、最後は3年生が貫録を見せつけました。クラス対抗の600mリレー(男女混合)も盛り上がり、歓声・どよめきがグラウンドいっぱい響き渡りました。

目玉は、なんとといっても1昨年から始まった3年生のフォークダンス。最初はどの生徒もぎごちなかったのですが、徐々にリラックスし、最後には男女とも笑顔に溢れ盛り上がりました。素晴らしい体育大会となりました。

○総合順位 1位 1年7組 2位 2年2組 3位 3年1組 ベストチームワーク賞 1年6組
クラス対抗リレー優勝 2年2組 クラス旗コンテスト最優秀賞 3年5組

芸術鑑賞ワンダードラムパフォーマンス



6日(火) 5・6限に体育館で東京よりパーカッションユニットのティー・ジェイ・パーをお招きしました。従来のクラシカルな打楽器アンサンブルにはないオリジナリティあふれるパフォーマンスを披露してくれました。リーダーの十鳥勉氏から曲の間に「継続する事の大切さ、練習量、発想の転換、工夫する事の大切さ等」について熱いメッセージをいただきました。「打楽器だけでなくたくさんの音を出してすごいなと思いました。1秒間に16回も打ったりドラムの足で打つ速さ等、驚く所がたくさんありました。面白さも取り入れてくれ、一緒に参加することができる所等色々工夫してくれていました。」「とてもリズムに乗って曲を演奏している姿は美しくかっこよかった。タンバリンとかでもプロはレベルが違い、同じ楽器でもここまで違うのかということを実感した。」「音楽を目で感じる、耳で感じる、心で感じる事ができてうれしかった。」(生徒の感想から)

どんどん祭りに参加しました！

18日(日) 今年で18回目となる有田川町の大きなお祭り「どんどん祭り」に、生徒が参加しました。生徒会役員ら7名が、模擬店を手伝ったり、マスコットキャラクターのぬいぐるみを着て子供たちの相手をしたり、お祭りの運営に一役買いました。生徒達は、割り当てられた仕事に一生懸命に取り組むなかで、大勢の地域の方々とは触れあうという貴重な体験を得ることができました。



品評会・文化祭 合同会議開催



21日(水) 午後7時から第109回品評会・文化祭に向け、合同会議が開催されました。参加者は、PTA、同窓会、地域協育会の方々と本校教職員。互いに連携しあって歴史ある品評会・文化祭を盛り上げていこうというものです。前半では、品評会のそもそもの趣旨や長い歴史や準備日程及び当日のスケジュールについて説明を行いました。後半は各地域毎に分かれ、農産物の出品勧誘や、集荷・搬入等について打合せを行いました。

28日(水)のLHRでは生徒の地区別集会を行いました。まず、体育館の全体会で品評会の歴史や意義、出品依頼・収集について説明を受けた後、各地区に分かれて出品物勧誘の心得、集荷日時、場所、搬入方法等について話し合いました。

今年の品評会・文化祭の一般公開は11月21日(土)9時～14時です。農産物品の展示や目白押しのイベント、そして生徒の頑張りを、ぜひともご覧いただきたいと思ひます。

出張授業・本格的和食料理

21日(水)大阪調理製菓専門学校の小崎成泰氏と鈴木啓史氏をお招きし、食育コースの2・3年生19名が本格的な和食料理に挑戦しました。メニューは「小鯛の薄造り」と「握り寿司」で3枚卸しと寿司の握り方について、懇切丁寧に教えていただきました。今春の卒業生の高垣さんと石倉さんも同行され、お手伝いしてもらいました。「魚をさばいたのは初めてで難しかった。上手って言われてうれしかった。家でまたやってみようと思った。手の匂いがなかなかとれなくてつらかった。」「人を見ている限り簡単そうに見えたけど、実際にさばいてみると難しかった。」「お寿司をにぎるのは初めてで、ご飯の量をどのくらい取ればいいのか難しかったけど、にぎり方もちゃんと教えてくれたので楽しかった。本格的な料理を作れたので、いい経験になった。」(生徒感想から)



